

西神楽聖和式
地域の暮らしのつくり方
地域将来ビジョンを考えましょう

～地域将来ビジョン全体検討会資料～
[聖和地域維持・活性化推進協議会]

はじめに

西神楽聖和式〔地域の暮らしのつくり方〕 “未来を記憶しよう！”

目的

- 地域で暮らしをつくり、守り、つないでいくために、西神楽聖和の地域将来ビジョンを描く。

方法

- ビジョンでは、地域の現状を見つめ、暮らしと、地域とをつないでいく戦略を検討する。

検討会を通じて目指す成果

- ビジョンづくりを通じ、何となくもっていた地域の現状と将来の姿を具体的に鮮明に捉えられる。
- ビジョンによる将来の具体的な暮らしぶりを「未来の記憶」として共有する。
- 地域づくりの全体像を描く。
- 具体的な工程をたてる。
- 地域住民や協力者が、地域づくりへの関わり方を分かりやすくする。

本日の取り組み方

ビジョンの作成に当たっては、以下の点を大切に取ります。

- 現状をしっかりと把握し、受け止め共有しましょう。
- 多様な年代を考え、自分事として知恵を絞りましょう。
- 地域の「これまでの取り組み」「資源」「人材」を大切に活かしましょう。
- 検討した「将来のシナリオの方向性」＝「多様な人材で自力更生」を基礎としましょう。
- 今と将来を共有し、自分と地域の暮らしの姿を鮮明にイメージしましょう。
- みんながビジョン実現の「参加の道筋」を掴めるようにしましょう。
- ビジョンは、継続的に知恵を集めバージョンアップしていくことを考えましょう。

本日の資料

地域将来ビジョン策定にあたって

これまでの準備に加え、

- 聖和小学校の115年の画像資料
 - 聖和小学校の閉校後活用のシナリオイメージ画像資料
 - 西神楽聖和の地域将来ビジョンのシナリオイメージ画像資料
- を活用して、全体検討会をすすめ、
ビジョンをまとめる

これまでの準備を確認

次に示す「地域将来ビジョン策定資料」により

- ワークショップについて学習した。
- 地域づくりの方向・方法(シナリオ)を検討した。
- 地域の今を確認した。
- これまでの西神楽聖和の地域づくりについて確認した。

西神楽の今と
地域づくりの取り組み
～地域集落ビジョン策定資料～

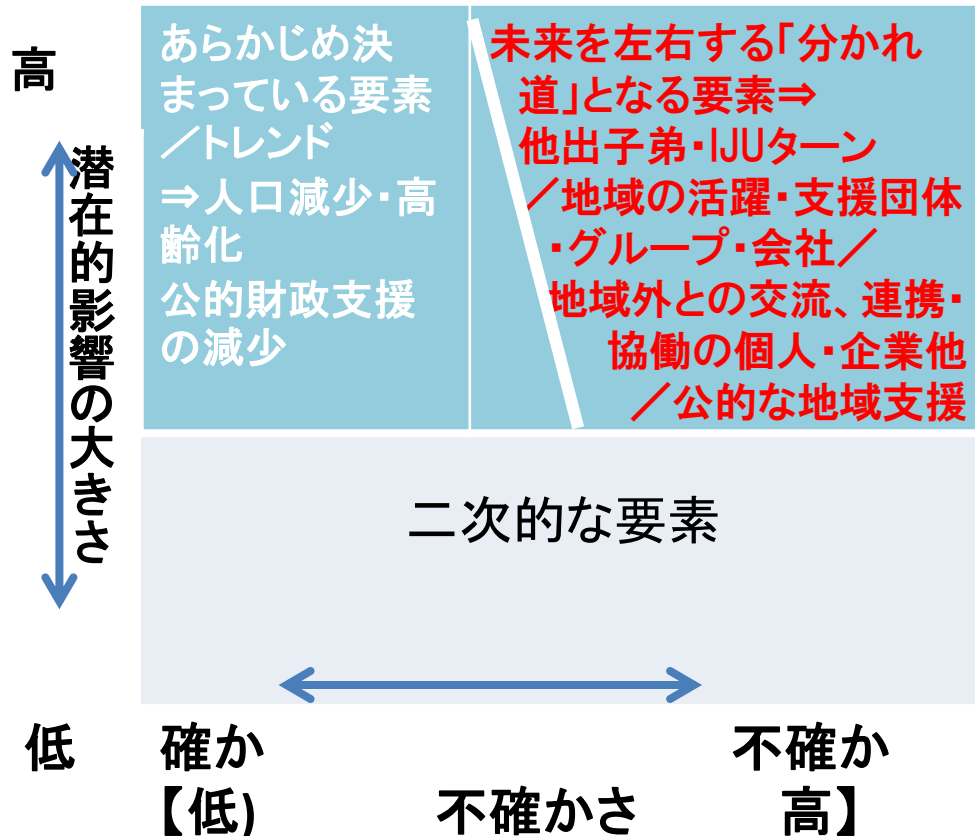
地域将来ビジョンづくりの準備
○ワークショップについて
○ビジョンの方向検討について
～地域将来ビジョン策定資料～

未来(聖和・西神楽地域の展開戦略)を左右する “分かれ道”になるような要因 を見つける

- 相当程度知的な予測可能な要素
- 例) 人口動態／人口減少・高齢化
- 不確かなことの中で組織(地域)にとって特に重要なものとそうでないもの
潜在的に大きなインパクトをもつ出来事

★「分かれ道要因」を多く出し、
最もインパクトのある2つを抽出し、
2軸による4つの象限(シナリオ)をつくり、
時間軸に貼りつける

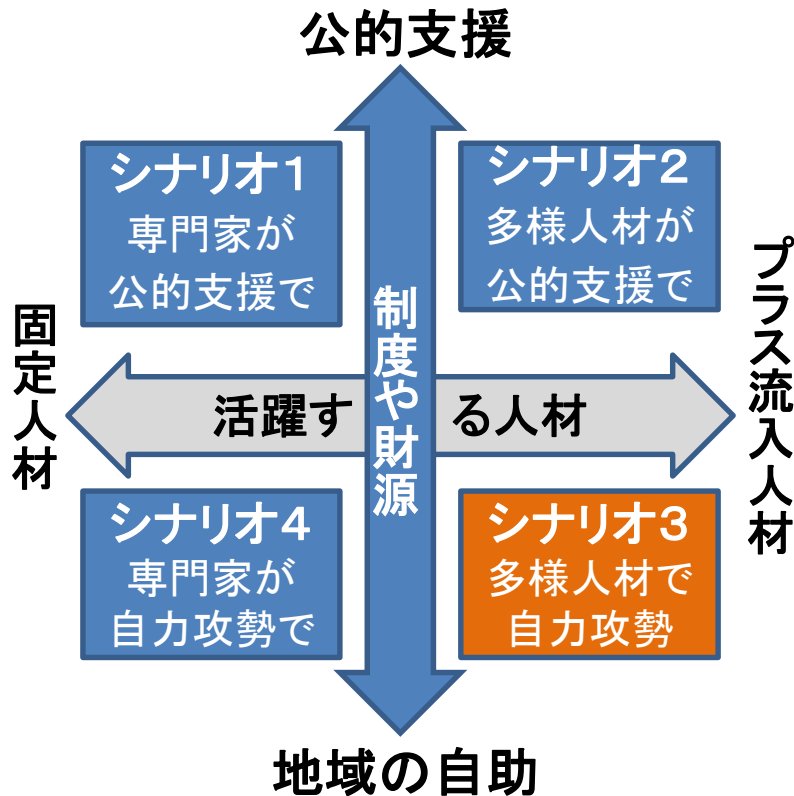
いつ どこで だれが 何を どのように



未来(聖和・西神楽地域の展開戦略)を左右する“分かれ道”になるような要因

- 他出子弟・IJUターン □地域の活躍・支援する団体・グループ・会社 □公的な地域支援
- 地域外との交流から連携・協働への展開

今後の西神楽聖和地域の展開戦略 シナリオ制作



●シナリオ・ゼロ

特に何もしない

- 固定人材＋公的支援
シナリオ1: 専門家が公的支援で
- プラス流入人材＋公的支援
シナリオ2: 多様な人材が公的支援で
- プラス流入人材＋地域の自助
シナリオ3: 多様な人材で自力攻勢
☞ チャレンジします！！
- 固定人材＋地域の自助
シナリオ4: 専門家が自力攻勢で

1. 各世代の暮らしの姿＝ビジョン をイメージするところから始めましょう

- これまでの検討会・準備作業をベースに、
世代ごとの暮らしの姿を
イメージイラストを呼び水としながら
- その実現に向けた[戦略]を話し合いました。
- スライドの右側に意見を書きだし、
取りまとめて共有し
また意見を出し合いました。

子育て世代

イメージイラスト



〔戦略〕

地域de子育て度アップ

地域で子育てしようという値が高く安心して子育てが出来きて、女性も安心して働いている

- 保育ママならぬ保育ばあちゃんがいるといい。
- そうすると、安心してママたちが仕事にも頑張れるようになる
- 3世代同居の家庭だけでなく、疑似近所のじいちゃん・ばあちゃんを合わせると3世代同居みたいな形(疑似的3世代家族)
- そばに、幼保施設(こども園)
- すぐそばに女性グループやママサロンがあって気楽に出入りしている。

高齢者世代

イメージイラスト



〔戦略〕

健康・安心・交流を

高齢者が心身共に元気でやりがいと生き甲斐と安心感をもって暮らしている

- ちょっとした手間・手伝いがあると農業が続けられる
- 身近なところに直売所なんかがあると頑張れる
- 出無精にならないように気軽な交流場所とか健康の勉強とかトレーニングの機会があるといいのではないかな。
- 「聖和小学校の後活用」の検討資料で見たような形を実現したい

多世代間交流

イメージイラスト



〔戦略3〕

多世代間交流の暮らしぶり

乳幼児からお年寄りまで顔を合わせ交流する場があちこちに広がっている

- お祭りや運動会、地域学習、自然学習、伝統芸能習得、などの機会を通じて実践の場を広げたい。
- 高齢者もいろんな役回りで忙しくて、参加ができなかったり、めんどうになることもある。



地域外との交流

イメージイラスト(仮)



〔戦略〕 多地域交流

全国から世界から訪ねてくる人々と普段着で交流出来ている

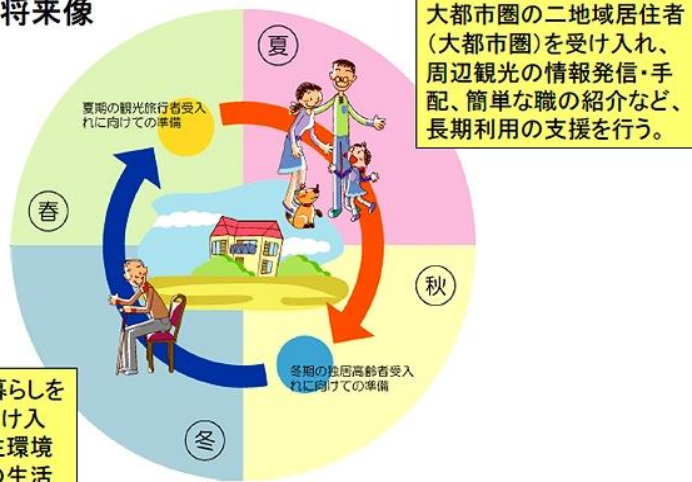
- 「交流」で新たに働く場や所得や増えていったり、地域を応援する人や企業も出てきてほしい。
- 交流から定住に発展するケースを増やしたい。
- いろんな企業や団体の協力が必要で難しさも感じる。

2 地域の姿をインフラからイメージしましょう

- これまでの検討会・準備作業から
インフラ(施設や仕組み)ごとの地域の姿を
イメージイラスト・写真を呼び水としながら
- その実現に向けた[戦略]を話し合いました。
- スライドの右側に意見を書きだし、
取りまとめて共有し
また意見を出し合いました。

インフラ：住まい／交流・観光の宿泊／文化・交流

事業で目指す将来像



西神楽地域で独り暮らしをしている高齢者を受け入れ、冬期の安全な住環境の提供と食事などの生活サポートを行う。

- 冬季集住とともに2地域居住での中長期利用を
- 空き家の活用
- 古民家はないけれど、強みとしての「旭川空港」「北海道中を味わう拠点としてのロケーション」を活かす
- 聖和小学校の後利用について検討したような内容をカタチに
- 後利用については条件を一つ一つクリアして活用の中身を充実していかなければならない。



インフラ：通院・買物、移動支援



- 車が使える間は高齢でもOK
- 車で10分～20分のところで買い物も通院もできる
- 通院・買物送迎サービスは今後需要が増えると思うので、対応できるように体制も人の手当も(新たな雇用にもなる)
- 高齢者世帯や独居高齢者の食事(お弁当)需要も広がる
効率よく配りつつおしゃべりして安否(元気)確認にも

インフラ：子育て・教育、高齢者交流、交流・買物



- 「聖和小学校後活用」ができると嬉しい
- 子育てママたちも、子供の面倒を見てもらいながら安心して自分たちが何かできるような場にするうれしいのでは
- 高齢者の交流と、子育てママたちの交流とが合流するような形もいい
- 手作り漬物の評判もいいし、加工品もふくめて、売り出せるような場としても使いたい

インフラ：安全・安心、交流

● 「旭川医科大学」との連携 (認知症予教室)



pixta.jp - 10274932



- 独居高齢者も若い世代も含めて安全・安心が必要
- 独居高齢者むけには「冬季集住」や「通院・買物送迎」
- 健康や認知症対策は絶対必要で、高齢者だけではなくて地域としても認知症の勉強や取り組みが必要
- 「聖和小学校後活用」の「シニア生き生きサロン」
- 男たちの安全・安心も必要で料理教室とか。食べてくれるゲストもいるといい。
- 災害避難の訓練や、場所として聖和小学校後はとてもいい

3. ビジョンの姿を どこでどう見せてどう発信しましょう？

- 各世代の暮らしの姿＝ビジョンを
広く地域の内外に
発信していかなければなりません。
- それによって、理解と共感を広め、
交流、連携・協働の輪を広げていきましょう。
- さて、どこで、どのように見せることで
発信していきますか？

聖和地域維持・活性化推進協議会 構成・連携団体においては？

地域将来ビジョンを作ったこと、それ見えるような形にして理解と共感を広げていくことが、その実現のためには必要です。

さて、どんな風にやって聞きましょうか。

- これまでの活動に少しずつ加える程度から始めるならできると思う。
- ひとの巻き込み方は、難しいよね。
- とにかく、若い人も、農家の人も忙しい。それぞれの仕事や活動の延長線上に、内容も人数も広げていくしかない。
- やっぱり手伝ってくれる人、プロデュースしてくれる人がいろんな面でほしい。

ビジョンの具体的な形や様子が見える場所はどう設けましょうか？

あそこに行けば、ビジョンの姿が見えるという場、空間、機会がないと、ビジョンが広がっていきませんよ。

どうやってそんな場所づくりをしていきましょうか。

- それぞれのグループの活動は、メンバー以外には見えない
- メンバー以外はあんまり興味をもたないし交流もない
- いろんなグループの活動があれこれ同じ場所でやっていけば、見えるし交流も出てくる
- 地元の人だけじゃなくて、2地域居住を使っている人や旅行者も気軽に立ち寄れる場所だと見えるし、いろんな効果も出てくる
- 難しさもあるけど、場所も作りも聖和小学校はいいね

どう発信し

交流、連携・協働の輪を広げていきますか？

- 私たちは、地域での交流の広がりとともに地域外とのいろいろな交流、連携・協働を広げたいと考えています。それを「新たな交流人材(人財)」として考えていますよね。
- その為に必要こと、やってみたいのは、どんなことですか。

- ウィンターサーカスが終わって冬の楽しさを見に来る人も減って来るけど、インターネットでも、本にしてでも伝えたい。
- 東京に行って西神楽聖和を伝えるパーティして、いろいろな輪を広げては。
- 若い人、学生さんとか、地元大学生もいいし、いろいろなネットワークとか伝える方法を持っている人たちとの交流はいいね。元気が出るし。

4. ビジョンの促進役を何が担うか 話し合いましょう

- ビジョンは、地域で暮らしをつくり、守り、つないでいく姿と道筋を描いています。
- 地域内と地域外のいろいろな力を合わせて取り組むことを目指しています。
- 注目している既存の取り組み
 - 観光(道内・道外)
 - 健康(旭川医大との連携)
 - 学校(生徒・児童)
- 注目の新たな取り組み(可能性)
 - ?
 - ?

- やはりこれまでの取り組みで実績のあるものが効果的ではないかな。
- 観光は、地域づくりの広がりをつくるには重要だと思う。
- 旭川医大との連携も強めて広げていければと思う。
- 学校は、制度・児童だけではなくて、観光などでも、すごくいい機会になるのではないか。
- これまでの取り組みを活かすには、新しさとか工夫も必要だと思う。
- 観光でも健康でも学校でも農業の食の部分がもっと活かされなくては。

5 西神楽聖和の地域将来ビジョンの タイトル(主題)を定めましょう

- タイトルは主題を表現するもので、ビジョンの軸、狙い、ベクトルなどを定めてくれます。
- そこを意識して、これまでの準備作業や今日の検討を通じてどのようなタイトル(主題)を付ければよいでしょうか。
- これまで出てきたワードは
 - ☑安全・安心な暮らし
 - ☑農村資源を生かす
 - ☑自力攻勢
 - ☑交流 ☑協働
 - ☑省エネ・創エネ
 - ☑地域の経済循環

■西神楽聖和式地域の暮らしのつくり方

- 地域財の掛け算戦略
- 自助・共助、連携・協働の戦略
- 農村資源を生かす取り組み
- 温かさのある暮らし
- 集って支えあって創る
- 農村経済の活性化

➤ 西神楽聖和式[地域の暮らしの作り方]

自助と共助、連携と協働を聖和から全国に
広げて～死ぬまで元気に暮らせる安心／食も
電気も地域で賄える安心～

“温か地域の安心な暮らし”&“農村資源を活用した取り組み活性化”

6. ビジョンの成果目標を立てましょう

～時系列的な整理～

- 各項目での時系列的な目標・アクションを表に整理して入れましょう。
- 大切なのはしっかり取り組みつつも、その時の状況を判断し、多様な知恵を集め続けて、バージョンアップし続けることです。

	1年目	3年目	5年目	10年目
地域将来 ビジョン	・ビジョンの完成	・ビジョンのバージョン アップ継続	・ビジョンの再構築	・自助と共助、連携 と協働を聖和から 全国に広げて ・～死ぬまで元氣 に暮らせる安心／ 食も電気も地域で 賄える安心～ ・“温か地域の安心 な暮らし”&“農村 資源を活用した取 り組み活性化” の成熟
地域内団体 活動支援	・取り組み開始	・団体活動の見える化 とビジョンのリンクを周 知	・団体の継承と拡大に見 通し ・活動の多様化	
ちいさな 拠点づくり	・拠点ビジョンづくり ・施設運営試行	・拠点の活用本格化 ・サテライト利用検討	・拠点のフル活用 ・都市とのお仕事創造の 連携	
交流・連携 協働の成果	・関係機関、連携協働 団体等へのビジョン提 示	・交流関連雇用の創造 ・高齢者生活支援関係 雇用の創造	・農村環境＋観光・医 療・福祉・教育等でビジ ネス的展開の発芽	
指標的項目	・ ・ ・	・ ・ ・	・交流人口5割増 ・交流関連経済3倍増 ・交流関連雇用5割増	